

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	大宮ふれあい福祉センター																											
(2)施設概要	<p>①所在地 大宮区土手町1-213-1</p> <p>②施設の設置目的 障害者福祉、高齢者福祉等を目的として自主的に活動する団体に対し、活動の場を提供するとともに、障害者及び高齢者に対し、教養の向上及び社会との交流の促進のための便宜を供与し、もって市民の福祉の増進を図ることを目的としています。</p> <p>③施設の概要 開設時期：平成7年5月 規模：敷地面積1,795.12㎡、延床面積4,011.19㎡、地上4階地下1階 会議室、福祉団体活動室等</p>																											
(3)指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団																											
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和3年度43,197千円、令和4年度46,880千円、令和5年度43,197千円</p>																											
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 24,755人(前年度36,078人) ・稼働率 42%(前年度43%)</p> <p>◇業務実施状況 福祉活動の拠点としての機能の強化、市民・福祉団体の交流の支援、福祉関係情報の発信、福祉施設と地域住民の交流の促進を図った。</p> <p>②維持管理業務の状況 建築設備、昇降機、自動ドア、消防設備、機械設備、給排水設備等の法定、定期点検及び破損、故障等が発見された場合は、迅速に修繕を実施した。</p>																											
(6)収支状況	<p>①収入</p> <table border="0"> <tr> <td>・利用料金収入</td> <td>1,187千円</td> <td>(前年度1,743千円)</td> </tr> <tr> <td>・指定管理料</td> <td>43,197千円</td> <td>(前年度46,880千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他の収入</td> <td>107千円</td> <td>(前年度2,540千円)</td> </tr> <tr> <td>・前期末支払資金残高</td> <td>885千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・事業区分間繰入金収入</td> <td>3,573千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0"> <tr> <td>・人件費</td> <td>7,690千円</td> <td>(前年度8,351千円)</td> </tr> <tr> <td>・事務費</td> <td>6,373千円</td> <td>(前年度6,147千円)</td> </tr> <tr> <td>・施設管理費</td> <td>25,762千円</td> <td>(前年度36,190千円)</td> </tr> <tr> <td>・事業費</td> <td>9,124千円</td> <td>(前年度475千円)</td> </tr> </table>	・利用料金収入	1,187千円	(前年度1,743千円)	・指定管理料	43,197千円	(前年度46,880千円)	・その他の収入	107千円	(前年度2,540千円)	・前期末支払資金残高	885千円		・事業区分間繰入金収入	3,573千円		・人件費	7,690千円	(前年度8,351千円)	・事務費	6,373千円	(前年度6,147千円)	・施設管理費	25,762千円	(前年度36,190千円)	・事業費	9,124千円	(前年度475千円)
・利用料金収入	1,187千円	(前年度1,743千円)																										
・指定管理料	43,197千円	(前年度46,880千円)																										
・その他の収入	107千円	(前年度2,540千円)																										
・前期末支払資金残高	885千円																											
・事業区分間繰入金収入	3,573千円																											
・人件費	7,690千円	(前年度8,351千円)																										
・事務費	6,373千円	(前年度6,147千円)																										
・施設管理費	25,762千円	(前年度36,190千円)																										
・事業費	9,124千円	(前年度475千円)																										
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>利用者の意見・要望を施設運営に反映させるため、10月から11月にかけて「利用者アンケート」を実施した。利用者アンケートにて「修繕が完了する際には事前に連絡が欲しい」との要望があったことから、修繕期間中も可能な限り進捗についての情報発信を行うこととした。その他、いただいた意見に対する回答は、正面玄関に掲示し、必要に応じて説明を行った。</p>																											
(8)その他																												

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
福祉活動の拠点としての機能を高める。 ・安全、安心な施設 ・利便性の向上 ・分かりやすい利用方法	日常点検を1日1回以上、館内全体の安全点検を月1回実施し、館内設備や備品等の適正な管理を行い、利用者に安心して利用いただけるよう努めた。 また、中規模修繕の実施に伴い、不要な備品や設備の確認を行い、修繕に反映していただくよう、さいたま市へ報告した。
市民・福祉団体の交流を支援する。 ・情報交換の場の設定 ・福祉団体のイベント開催補助 ・利用者懇談会の実施	昨年度に引き続き、利用団体の紹介及び活動内容等について、各団体の意向を確認のうえ、施設ホームページへ掲載した。新規事業の実施については、中規模修繕終了後の実施に向けて検討を行った。 利用者懇談会を開催し、中規模修繕についての概要説明や、修繕実施にあたっての利用者からの声を聴取した。また、修繕開始前に利用者アンケートを実施し、利用者からいただいた意見や要望を中規模修繕後に反映できるよう職員で検討を行った。
すべての市民に分かりやすい福祉関係情報の発信に努める。 ・福祉関係情報の設置 ・関係機関等との連携 ・施設情報の広域的発信	事業団webサイトや今年度新たに開設したXを活用し、福祉団体の販売活動情報やセンター情報の発信を開始した。販売活動については、予定だけでなく、当日の販売状況の発信も行い福祉団体のPRを行った。
福祉施設と地域の住民の交流を促進する。 ・福祉施設による販売所の効果的な設置 ・地域との交流行事の開催	利用者懇談会や利用者アンケート、みなさまの声を活用し、利用者ニーズの把握に努めた。いただいたご意見について、施設内で検討のうえ対応した。また、設備面の要望等については、中規模修繕にて改善していけるようさいたま市に要望を伝えた。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

令和5年度は年度途中から修繕が予定されていたが、休館になるまでの期間は利用者にとって不便がないよう通常通りの施設管理を行った。中規模修繕を機に、備品の精査を行うとともに、令和5、6年度中に入替を進めていく。

①市民の平等利用、市民サービス向上、利用促進については、中規模修繕に関する情報発信を窓口や館内でのだけでなく、施設webサイトやSNSツール(X)を活用し、広く周知に努めた。休館期間中においても、利用者からの連絡が受けれるよう、移転先の事務所に電話機を設置した。

②経費の削減については、水道光熱費の縮減を図り、契約電力のプランの見直しを行い、プランの変更を行った。休館が予定されていたことから、修繕消耗品の余剰購入は避けた。

③適正な管理運営の確保については、例年同様に法定点検や環境美化の取組を適正に実施した。中規模修繕の実施により、12月から施設は休館となったが、それまでの期間においてはこれまで同様にサービスの提供に努めた。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局生活福祉部福祉総務課)

総合評価 (B) ※A~D

施設の管理運営としては、地域福祉の活動拠点としての設置目的を達成するため、建物設備等に不具合が発生した際、迅速な対応による機能回復が図られ、安心・安全な施設管理が行われていた。

また、中規模修繕工事については、施工業者との細かな調整・確認等、工事の円滑な進行に協力するとともに、利用団体等への丁寧な説明等が行われていた。

指定管理業務全体として本市が求める水準を満たしていることから、総合評価をBとした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

中規模修繕工事については、引き続き、施工業者との細かな調整・確認等、工事の円滑な進行に協力するよう指導していきたい。

また、中規模修繕により利用者の利便性が向上していることから、利用者からの期待は高まることが予想されるので、引き続き地域福祉の活動拠点としての機能が発揮されるよう指導していきたい。